

平成29年3月22日(水) 14:30~
大田スタジアム

2017東京都春季企業大会
1回戦

VS

NTT東日本

1死無走者から8番・森川がセンター前にチーム初ヒットを放つと、1番・吉田もセンター前ヒットを放ち、2死1、2塁とチャンスを拡大する。しかしつづく2番・新城が見逃し三振に倒れ先制点のチャンスを逃す。

4回・5回と先頭バッターが出塁するも4回は5番・竹内が、5回は7番・増野がそれぞれダブルプレーに倒れ、チャンスを拡大することができず、無得点のまま試合は後半戦に突入する。

8回、8番・森川がライト線2塁打、9番・宮川が四球で1死1、2塁のチャンスを作るも1番・吉田がダブルプレーに倒れここでも先制できない。9回も2死から4番・加藤が四球を選ぶがあとが続かず9回で得点することができない。

【試合経過】

チーム名	イニング	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
明治安田生命	安打	0	0	2	1	0	0	0	1	0	4
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
NTT東日本	安打	2	0	1	1	0	1	1	0	2	8
	得点	0	0	0	0	0	0	0	0	1x	0

先発の玉熊は初回、連打で無死1・2塁のピンチを招くも相手の送りバント失敗と内野ゴロ2つで切り抜け無失点、続く2回も1死2塁のピンチを作るが、ここも内野ゴロ2つで切り抜け無失点に抑える。玉熊は初戦の緊張感からか、無失点ながらも不安定な立ち上がり。

先発・玉熊は3回から7回まで毎回走者を出す苦しいピッチングが続く。しかし相手の走塁ミスなどにも助けられながら要所を締め、粘りのピッチングで得点は許さない。

簡単にツーアウトを取ったあと、相手の5番が内野安打、続く6番が四球で2死1、2塁のピンチを招くとここで2番手・三宮が登板。しかし続く7番にレフト線へのタイムリーヒットを打たれ2塁走者が生還、サヨナラ負けを喫した。

各選手成績は下段の表をご確認ください。

【打撃成績】

打順	守備	選手名	所属	打席	打数	安打					打点	盗塁	犠打	犠飛	四死	打率
						計	単	二塁	三塁	本塁						
1	6	吉田	新入職員	4	4	1	1									0.250
2	4	新城	新入職員	4	3	0									1	0.000
3	8	泉澤	武蔵野支社	4	4	1	1									0.250
4	9	加藤	新宿支社	4	2	0									2	0.000
5	DH	竹内	町田支社	4	4	0										0.000
6	5	島田	広域組織法人部	3	3	0										0.000
7	7	増野	川崎支社	3	3	0										0.000
8	2	森川	新入職員	3	3	2	1	1								0.667
9	3	宮川	上野支社	3	2	0								1		0.000
	3	小川	町田支社	0	0	0										#DIV/0!
計				32	28	4	3	1	0	0	0	0	0	0	4	0.143

【投手成績】

登板	選手名	所属	勝敗	回数	打者	球数	安打	三振	四死	失点	自責	防御率
先発	玉熊	新入職員	×	8 2/3	23	106	7	5	3	1	1	1.04
2番手	三宮	横浜支社		0/3	1	4	1	0	0	0	0	#VALUE!
計				8 2/3	24	・	8	5	3	1	1	1.04